

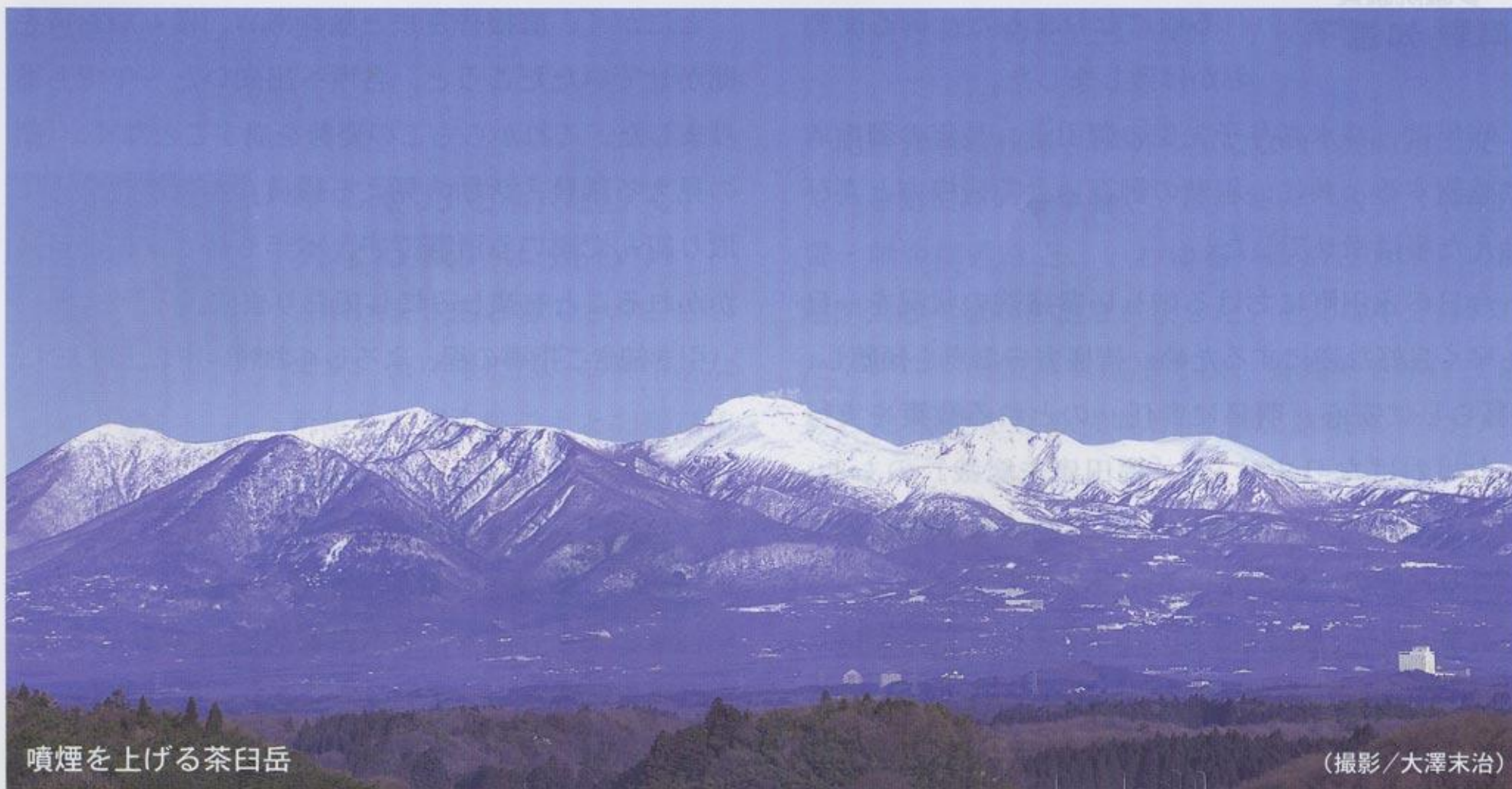
栃木県 看護連盟だより



ベッドサイドから
政治を変える



平成20年2月20日発行 発行者:栃木県看護連盟 〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15 (社)栃木県看護協会研修センター内 TEL028-610-1035
発行責任者:栃木県看護連盟会長 渡邊暎子/印刷所:(株)井上総合印刷



噴煙を上げる茶臼岳

(撮影/大澤末治)



栃木県看護連盟会長
渡邊 暎子

心機一転、 前進あるのみ

あけましておめでとうございます。昨年の選挙は残念な結果に終わりました。看護の力を結集できなかったこと、申し訳なく思っております。参議院議員は、おの先生お一人になりました。

次回は、何が何でも当選させないと参議院に代表議員がいなくなることにあります。先輩が築き上げて

きた看護制度の改革がとぎれてしまいます。

候補予定者は、松原さんが辞退されたので他の方が選ばれることになりました。候補予定者が決定しましたら、皆様にいち早くお知らせして行動に移します。

看護の現場で働く看護職者がやり甲斐をもち、生きがいに繋がり、長く続けられる職場環境の改善が求められます。看護職を愛する皆様のために、現場の声を国政に反映させ、広く国民の幸せに寄与する使命を看護連盟は担っています。

年の始めに心を新たに活動を進めたいと思います。ご支援をお願い致します。



INDEX

- 会長あいさつ ①
- 新年のごあいさつ ② ③
- 清水嘉与子先生「お世話になりました」 ③
- 第21回 参議院選挙を顧みて ④ ⑤
- 連盟研修会報告「国会議事堂見学」 ⑥
- 新支部長紹介 ⑦
- お知らせ ⑧
- 訃報 ⑧
- 私の趣味・自慢「茶道を通して」 ⑧
- 編集後記 ⑧

平成19年度 栃木県看護連盟会員数

職種	性別	男性	女性	合計
保健師		4	108	112
助産師		—	208	208
看護師		258	5,421	5,679
准看護師		33	547	580
合計		295	6,284	6,579

連盟会員 募集中

会費 7,000円(本部5,000円,県2,000円)/年(賛助会員 1,000円/年)



参議院議員
南野 知恵子

看護・助産・保健の課題は山積。ヤルッキャナイ!

昨年中は数多くの御指導、御鞭撻を給わり無事一年を過ごす事が出来ました。骨折の足もどうにか回復し、永田町を走り回れる様になりました。御心配をおかけ致しました。

昨年は、清水嘉与子先生の御引退、長年の御指導に感謝すると共に、叙勲の御祝い会で皆様方と喜び合えた事は幸せでした。

今日の永田町における厳しい参議院の状況を一日も早く良好な姿にするため、皆様方のお声を傾聴し、「暮らしに安心、明日に責任」のとれる政策を実行しなければなりません。「福田康夫総裁」のもと、温もりと生きがいを感じる様、「自立と共生」の国づくりに党の一員となって頑張ります。

看護・助産・保健の課題も山積しています。今年は、衆議院1人、参議院1人結束して「ヤルッキャナイ」年であります。子年に当り「宙」「忠」「鑄」と看護職に誇りを持って頑張ります。努力します。よろしく。



衆議院議員
阿部 俊子

「顔・活動の見える議員」になることが目標。

栃木県看護連盟の皆様、新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年を振り返ってみますと、夏の参議院選挙では、松原まなみさんの善戦もならず、看護の貴重な一議席を失ったことは大変残念なことでした。

年明けの通常国会においては、社保庁改革法、公務員制度改革法など多くの重要法案が成立しました。しかし臨時国会では、安倍前総理の突然の辞任により、国会は約1ヶ月の空白期間を生じ、衆参与

野党ねじれ現象の中、混沌とした状況が続きました。

私自身は、かねてより取組んできた臓器移植法改正案や、「尊厳死」法制化を目指し活動をして参りましたが、多くの課題を抱え、来る通常国会への持越しとなったことは大変残念なことでした。

とにかく、直接皆さまと触れあい、様々なお声を聞かせていただこうと、各所へ出向いた一年でもありました。これからもこの姿勢を崩すことなく、「顔の見える議員、活動の見える議員」を目標に全力で取り組んでまいる所存です。本年も皆さまにお目にかかれることを楽しみにしております。

引き続きご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



日本看護連盟会長
見藤 隆子

阿部議員の知名度を上げる努力を!

栃木県看護連盟のみなさま、新年おめでとうございます。

旧年12月には、清水嘉与子先生の旭日大授章のお祝い会と、石本茂、小林富美栄両先生を偲ぶ会が東京で行われました。会を通して、石本先生、清水先生の後を継ぐ人を、必ず国会に送り続けなければならないと強く誓いました。

国会を見るにつけ、何時衆議院の解散になるかと気を揉むこの頃です。阿部議員はどうなるのか。前回の得票比率は、平沼10対阿部6でした(惜敗率60パーセント)。阿部候補は中国ブロック比例1位で復活することが出来ましたが、次の選挙では、惜敗率だけになるかも知れません。惜敗率では95パーセントを取らねばなりません。

目下、後援会活動を通して阿部議員の知名度を上げる努力をしています。近県看護連盟の方々がこれ迄にも沢山入って下さり、後援会活動をして下さっています。この活動は続けられますので、行ける方は、阿部事務所にご連絡下さると嬉しく存じます。

現在のマスコミによる阿部議員の次期衆議院選挙予想は大変厳しい状況です。阿部議員を落とすようなことがありますと、われわれの政治力は又一層低下してしまいます。そのために、われわれも頑張っておりますが、皆様からのご協力もお願い致します。

この一年が皆様にとりまして良いお年となりますように祈念申し上げます。



栃木県看護協会会長
鮎 淵 タツノ

今こそ力を結集して、次なる戦いに挑もう!

明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。栃木県看護協会に対します日頃よりのご指導ご支援に、心より御礼申し上げます

と共に、本年も変わらぬご交誼を賜りますようお願いいたします。

昨年にも様々な出来事がありました。

自然災害が多発し、3月の能登半島地震に続いて7月には新潟県中越沖地震が起こり、原子力発電所

の被災で、その安全性が問い直されました。栃木県看護協会では多くの皆様のご尽力により、災害支援ナースを多数、被災地に派遣することができました。本当にありがとうございました。

また昨夏は岐阜、埼玉県内で観測史上最高気温の40.9度を記録するなど連日厳しい猛暑に見舞われ、脱水症で尊い命を亡くされた方も多数おられました。

記録管理の杜撰さが明らかになり、大問題になっている宙に浮いた年金や、政治家の不透明な事務所費・献金問題など、いわゆる「政治とカネ」の問題が大きく取りざたされました。そんな中で行われた7月の参議院議員選挙では、看護界を挙げて応援した松原まなみ候補が残念な結果に終わりました。

私達は今こそ力を結集し、次なる戦いに挑むべく、渡邊会長さんと一緒に頑張りましょう。

医師不足、看護師不足は尚深刻な状況にあります。ワーク・ライフバランスが大切です。しっかり働き、疲れたら休む。大切なものを大切にできる社会の到来を願っております。



先生より当会にごあいさつ文が届きました。

謹啓 初冬の候 皆様には 益々ご清祥のこととお慶び申し上げます
さて私こと
この度の秋の叙勲に際しまして 図らずもその栄誉に浴しましたところ 早速にご丁寧なご祝意を頂戴し まことにありがとうございます 衷心より厚く御礼申し上げます

十一月六日には皇居に参内して 天皇陛下より 旭日大授章を親授賜り 感激も一入でございました
参議院議員として懸命に十八年を務めて参りました が、これもひとえに 皆様方の温かいご支援ご指導によるものと感謝申し上げます
今後ともよろしくご厚誼のほど お願い申し上げます
末筆ながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます
まずは書中をもって御礼のご挨拶とさせていただきます
敬具

平成十九年十二月吉日

清水 嘉与子

第21回 参議院選挙を顧みて

会員の皆様、昨夏は大変お世話になりました。温かいご支援とご協力を頂き心から感謝申し上げます。しかし、結果は悲しい落選となってしまいました。栃木県は松原まなみさん支持で3年後の必勝を目指そうと決意しましたが、松原さんご自身が諸事情からご辞退されましたので、大変残念ですが、新しい候補者を決めて選挙戦が始まる予定です。

今回、松原さんは167,595票獲得しましたが、自民党への逆風がつよく、当選には及びませんでした。栃木県では6,190票、前回よりは1,946票上回りましたが、それでも不思議なことに、連盟会員数には届きませんでした。しかし14支部は頑張りました。「残念・悔しいショックです。」と今年の年賀状のほとんどにこの言葉が入っていました。

でも前を向いて頑張らねばなりません。そこで今回の選挙から得た様々な体験や想いを3人の支部長に記していただき、3年後の教訓に生かしたいと思います。「千里の行も足元から始まる」～はじめは目的にほど遠くても、着実に歩を進めていけば大事が成る～の格言のように、新たな気持ちで力を尽くして皆様と共に前進していきましょう。(伊藤正子)



県北支部長
賀川 康子

3年後の 参院選に向けて

「看護の心が世界への愛となり、平和を願う行動になり、政治参加が実現した。先輩の点した国政参加の灯を、私たちは自分の世代で消してはならない。点灯し続けることが後継看護職の責務である。」と私は思う。

先輩の努力によって、今日の看護制度が確立されたのである。汗と涙の結晶によって築かれた、看護職の参政権のことを忘れてはならない。

しかし、3年後には国政参加議席が全て失われようとしている。全国の看護職は、今、危機感をもって立ち上がることが急務である。

◆「看護職は単に一労働者に終わって良いのか。」と自問し、専門職として看護を確立しよう。保健師・看護師・助産師は、国民の健康問題を支える専門職でなければならない。政治参画なくして国民を支えられない。

◆理念と目標のない組織は滅びる。

看護協会と看護連盟は表裏一体である。とりあえず看護協会に入るだけでは、専門職としての責任を果たしたことはない。無納税・無銭乗車にも等しい。運動を支える実質的責任を負っていないからである。

看護職の代表を国会に送ることについて、現在の

看護職が全て結集すれば、数字上では選挙に敗戦する筈がない。なぜ負けてしまったのか？自らの組織力を省みない組織体質が薄弱であることは恥ずかしい。全力を尽くさなかったという外はない。このことを無念残念と思う看護職が何人いるか。それが問題である。

あらゆる苦しみや悲しみを、他山の石としか見ない体質が温存されていないか。反省したい。組織力の弱さが、看護文化の体質の弱体化をも包含していると言えるのかもしれない。

あらゆる看護職は勿論のこと、組織の統括者・看護管理者・看護教育者が、自らに警鐘を鳴らして行動する外に道はないと思う。行動する看護協会会員・看護連盟会員の拡大を推進しなければならない。まず行動しよう。



芳賀支部長
岩崎 安子

3年後の 参院選に向けて

あけましておめでとうございます。昨年の参院選では、会員の皆様には多大な御協力を頂き、ありがとうございました。

日本看護連盟は、平成17年から結束も新たに“リフォーム連盟”を掲げ、組織の再構築として、各都道府県の支部改編をおこない、活動強化を図ってまいりました。

栃木県看護連盟は、当初12支部を拠点とし活動

をスタートしましたが、是非新たに支部加入をさせていただきますとの申し出により、現在では2支部増え、計14支部がそれぞれに頑張っております。

さて、先の選挙においては、栃木県看護連盟は他県に比べ、全国でも上位にあたる高得票を獲得いたしました。このことは、ひとえに会員の皆様のアンフィーニ活動の成果と大いに評価しておりますが、現実には私たちの満足とは裏腹に非情な結果となり、痛哭の極みでした。

しかしながら、嘆き悲しんでばかりはいられません。看護界を不死鳥のごとく再び舞い上がらせるためには、来る3年後の参院選において、私たちの代表を国政の場に送り出すべく再挑戦をすることです。

基本的には、県内14支部活動の強化を主体とし、アンフィーニ会員の増員活動を地道に継続していくことです。各支部長・支部役員を中心に、会員達と積極的にコミュニケーションを図り、人間関係を深めていくことが連盟活動への理解と、会員自らが活動に参加しようとする風土が培われていくものと考えます。

看護職の代表を国政の場に送ることは、今後益々厳しい状況下におかれるものと推測できます。

私たちの待遇改善はもとより、国民の皆様の安心・安全な医療を守っていくためにも、3年後の参院選は重要でかつ重い意義があります。会員の皆様の多大な御協力と御支援を、強く強くお願いしたいと思います。



足利支部長
稲村 小夜子

3年後の 参院選に向けて

昨年7月29日、第21回参議院議員選挙は、とても残念な結果でした。今回の選挙は自民党は民主党に完敗でした。それは看護界にとっても大きく影響し、私たちの代表であった松原まな

みさんは、前回の参議院選挙より1万5,000票を上回ったが、目標の25万票には届かず、16万7,594票という結果で苦杯、議席を失ってしまいました。これは看護連盟にとって大きなショックでした。

振り返ってみると、前回の参議院選挙を反省し、3年前から「ベッドサイドから政治を変える」を合言葉に全国に沢山の支部が作られ、活動してきました。しかし、結果をみると看護師一人ひとり、この言葉が意味するものを理解して、同じ目標に向かっていったのか疑問が残りました。

当足利支部を振り返ると、前回の選挙より倍の得票数でしたが、目標の700票には届きませんでした。私が頑張らなくても誰かがやってくれる。他人任せが、この結果を招いたのではないかと思います。しっかりと反省し、看護連盟の活動を、もっと沢山の人の理解してもらえようような支部活動をしていかななくてはならないと決意しました。

それには、足利支部内のネットワークの見直しを行い、定期的に看護職員全体や各病棟において研修会を開き、看護師一人ひとりの意識を高めるよう努めていきたいと考えています。

また、足利支部では、地元議員さんの大きな協力を得ています。今後も市民の皆様が、看護連盟に目が向けられるように活動を続けていきたいと考えています。

すでに3年後の選挙へ向けて、連盟本部の活動は始まっています。次期参議院選挙では、皆で笑って万歳三唱ができることを誓います。

会員募集

**ベッドサイドから政治を変える
職場の声を政治に直結!!**

本年の目標は

会員数6,500名以上

**選挙の基本は会員の数。数は力なり!!
力強い栃木県看護連盟にしよう。**

締切は2/20(日看連の総会代議数が決定)
しかし、期間を過ぎても随時受付ます。



清水嘉与子先生



南野知恵子先生



阿部俊子先生



国会議事堂をバックに



研修風景

国会見学に参加して

菊地 俊子さん(済生会宇都宮病院看護専門学校)



晴天に恵まれた10月11日、80名を乗せた大型バス2台は、宇都宮を出発し、一目散に国会議事堂に向かい、時間通りに到着しました。到着すると、国会議事堂の職員の案内で見学がはじまりました。

いよいよ見学です。すばらしい建物・建造物、ひとつひとつが重々しく歴史と文化が感じられ、どれを取っても美しく、気品あるすばらしい物ばかりでした。特に、本会議の開かれる参議院本会議場の後ろの「傍聴席」に座っただけでも、自分が議員になった錯覚さえ感じられました。また、議事堂の一番上の円形状になっている場所は、東京ドーム位の広さがあり、世界各国からの王族が集まった時に、ダンスパーティー等が開かれたこともあると聞き、建

物の広さに驚きました。

自民党会館でお弁当を頂きながら、南野議員他沢山の議員の方々のお話を伺いました。阿部俊子議員のお話はユーモアたっぷりの話の中にも、看護師の現場の声を国政に訴えていく意気込みで心打たれました。外の議員の方々も、看護師不足、看護の質の向上、社会的地位の確保、労働条件等身近な問題を、一生懸命に国政に訴え、医療現場の沢山の問題を解決し、また獲得してくださっている情景が目に見えてくるようなお話しで、感銘いたしました。

これからは、女性の職場として看護師が働き続けられる、よい環境を求めるためにも、看護界から一人でも多くの議員を出して、国政の場で活躍していただける人を、沢山送る必要性を再認識した一日でした。

支部長紹介 鹿沼支部長 柴田 由利子さん



「栃木県看護連盟鹿沼支部長に就任して」

この度、星野靖子氏の退職に伴い、新しく支部長に認定されました。長年、星野氏が携わっており、任せきっておりましたので、今までのようにスムーズに会を運営できるか心配しております。本部のご協力を仰ぎながら、支部役員並びに会員と共に、力を合わせていきたいと思っております。

鹿沼支部会員は、現在286名です。鹿沼地区には、まだ多くの看護職員がおります。看護連盟

は、看護職員の地位向上には無くてはならない組織であり、また、国民の健康と福祉の向上に貢献するために活動していることを、一人でも多くの看護職の方に啓蒙していくことで、会員増加を図っていきたくと考えています。

尚、会員に入会できない方には、看護連盟の趣旨を理解していただき、賛助会員に加入していただけるよう、働きかけていきたいと思っております。今後ともよろしく、ご指導くださるようお願いいたします。

栃木県看護連盟協力企業

ひとときわ輝く 天然ジュエリー

20%~40% off

ジュエリーアキヤマ

〒339-0015 埼玉県岩槻市大谷443-8 TEL.048-799-0751 FAX.048-799-0200

美しく生きる女性を 応援します。

グランドフェザーグループ

株式会社 グランデ

〒327-0826 栃木県佐野市茂呂山町7-7 ☎0120-03-6131

自分史を作りますか？

一人の人間が長い人生を歩んできた証文、
自分で書いた自分の鎮魂歌、それが「自分史」。

株式会社 井上総合印刷

〒321-0973 栃木県宇都宮市岩曾町1355 TEL.028-661-4723 FAX.028-662-7607

6/6 金 日本看護連盟総会 東京プリンスホテル

6/21 土 栃木看護連盟総会 コンセーレ

10/9 木 平成20年 国会見学 予定

訃報

石本 茂先生(94歳)10月10日 逝去されました。

12月10日
東京プリンスホテルで
偲ぶ会が催されました。

小林富美栄先生(86歳)8月8日 両先生のご冥福をお祈り致します。

趣味 コーナー

「私の趣味・自慢」

茶道を通して



私は茶道(裏千家)を始めて、約30年になります。途中、結婚・育児のために中断はありましたが、

現師匠の武井宗知先生の御好意により、月1回のお稽古でも教えていただける事になり、副看護部長の水戸部さんと師長の伊澤さんと3人でお稽古に通いました。

月1回ですので一歩進んで、三步下がる状況でしたが、今日まで継続できたのは、一重に武井先生の茶道に対する真摯な姿勢、和敬静寂、そのものだったからだと思います。茶室の中に野の花2~3輪を飾り、究極の季節感を出し、?10万円もする茶道具を惜しげもなく使わせていただき、テレビの、何でも鑑定団、ほどではないですが、本物を観る目は養われたと思っています。

仕事で疲れて、お稽古を休みたくなる時もありましたが、先生が準備して待っていてくれる事を思うと、申し訳なく、しかし、お稽古をして帰る時、満天の星空を仰ぎ、豊かな心で充実した時間を過ごせた事に感謝して、家路につきました。

茶道の心、和敬静寂、は看護の心そのもの(7年前より、卒①の卒後教育に社会人としての礼儀作法を知る)研修としてとり入れ、心を込めて立てた一盃を、感謝しながらいただく中で、お点前をしていただいた方に、真のおじぎ(茶道には真・行・草のお

フィコ横浜で開催された、ICN学術集会では鯉淵看護協会長推薦により、文化交流・お点前実演の部に水戸部副部長と出席させていただき、日本文化を紹介する事ができ、外国の方々に好評でした。武井宗知先生はじ



2007.8 ゆかたざらい 武井宗知先生と共に



2007.5.31 ICN学術集会 文化交流 お点前実演



2007.11 卒①研修 社会人としての礼儀作法を知る



2007.11 病院の文化祭にて

じぎがある)で挨拶をする。研修後のアンケート結果では、来年も継続をの希望が多く現在に至っています。

また、11月の病院の文化祭(2日間)では、茶道クラブ主催による茶会を4年前より開催し好評です。昨年のパシ

め、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

佐野厚生総合病院看護部長
佐野支部長 阿部 トメ

この趣味のコーナーに、あなたの「趣味」をお寄せください。

編集後記

迎春 今年が干支の一番、ねずみ年です。元気に行動し、情熱的な年でありますように願っております。星野富弘氏の詩に「人間にだけ時が厳しく過ぎている」と、ありますが、私もタイムリミットの重さを実感しております。今年、次期選挙に向けての地盤作りに、皆様の沢山の情報をお知らせください。また、現場で働く若い看護師、保健師、助産師の皆様に、連盟活動に関心を持ち、政治活動の重要性を意識していただきたいと思っております。ご意見、何か問題等ありましたら、連盟事務局までご相談下さい。ご一緒に考えましょう。今回発行するにあたり、皆様のご投稿ありがとうございました。 E.K